

# 装着に必要な部品と装着要領

フィット GD1, GD3  
CVT



## ご準備いただく部品

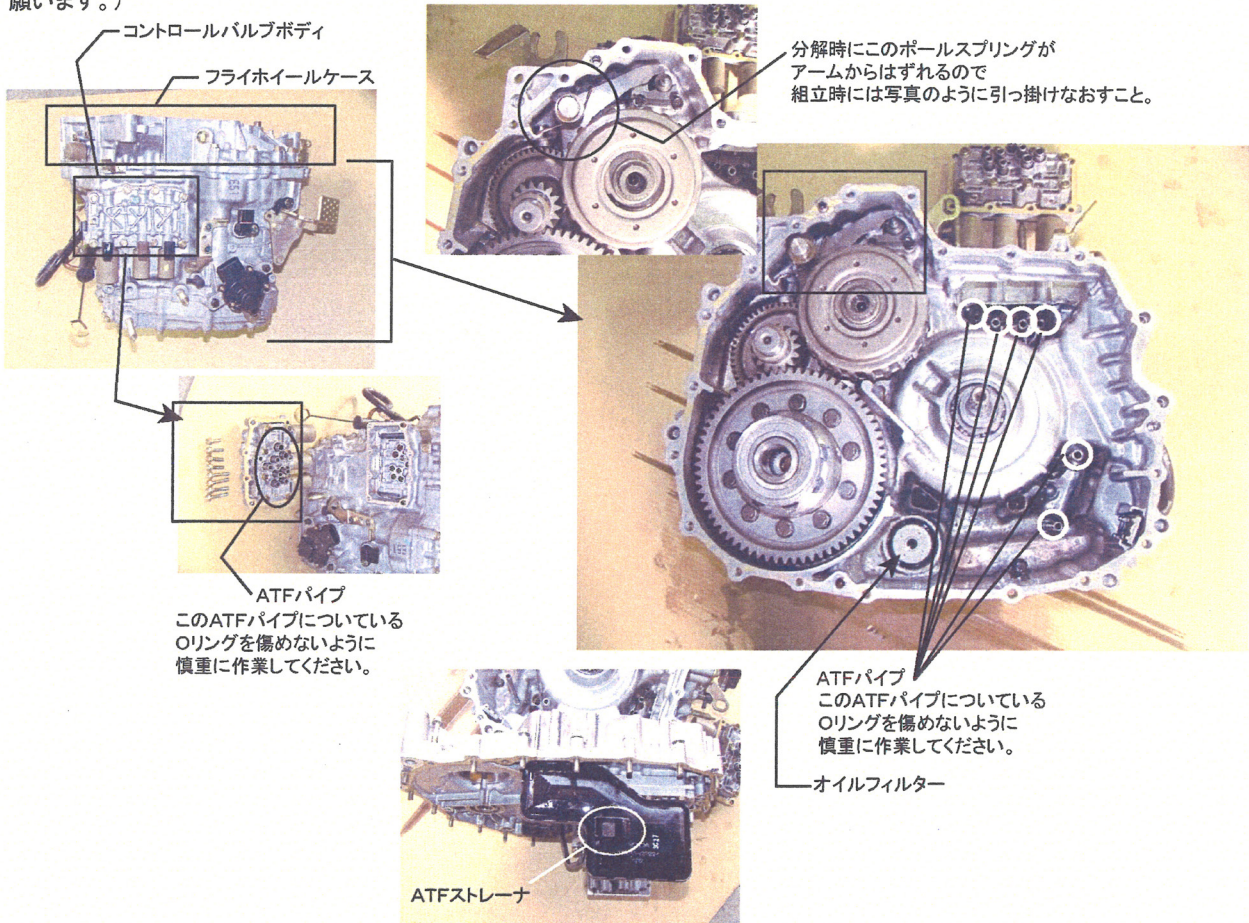
部品名	品番	数量	備考	参考単品価格 (税抜)
パッキン、フライホイールケース	21811-PWR-000	1		¥1,340
フィルター COMP、エレメント	25450-PWR-003	1		¥860
Oリング	91303-PWR-003	1	43 × 1.9	¥95
パッキン、リニアソレノイド	28252-PWR-000	1		¥190
ベアリング、シールドボール	91005-PS1-003	2	6208C(NTN)	¥1,380

上記の他に、オイルシールは必要に応じて手配してください。

また、ミッションの油温を常時確認できるように、油温計を装着してください。

### ■ミッションの分解・組立要領

- 1 フライホイールケースとコントロールバルブボディを取り外す。この際に、ATFパイプが抜けるので、それらを元の位置に戻せるように慎重に作業してください。また、ポールスプリングがはずれるので、組立時に正常位置にもどすこと。
- 2 ATFストレーナを点検し、必要に応じて清掃・交換してください。
- 3 油温計を装着してください。(ドレンへ装着する場合、ドレンネジはM18×P1.5。装着方法は、油温計メーカーにご相談願います。)



### ■メンテナンスおよび運転操作上のご注意

- 1 オイルは、ホンダ純正ATFオイル(CVT専用)をご使用ください。他銘柄オイルによる性能・耐久性は保証できません。
- 2 加速・旋回時には特にハンドルを両手でしっかり保持してください。  
LSDを装着した車両は加速時にハンドルキックバックやトルクステアが発生しますので、ハンドルの手の平回しや、内かけ操作は非常に危険ですから、このような操作は絶対にしないでください。
- 3 慣らし運転は、市街地300Kmとし、走行後オイル交換願います。その後は、3000Kmごとに交換してください。  
サーキット走行や激しい走行をした場合は、走行距離に関係なく早めにオイル交換してください。  
オイル交換の都度、オイルが黒くなっていますが、異常ではありません。
- 4 必ず油温計を装着してミッションオイルの温度を監視して、120度を以下でご使用ください。
- 5 レース・競技用部品ですので、走行開始後の保証は一切できません。
- 6 ロック状態や異音など、異常を感じたらただちに運転を停止して、点検し、必要に応じて修理してください。